

外国人対応の仕方 第三弾！！ 一年目に基礎言語能力の育成が最も重要

- ★【第一弾・第二弾外国人対応の仕方】を特集してお届けしたが、「国家試験合格のためには、具体的にどのような対応をすれば良いか等」の反響が非常に大きかったために、第三弾を特集した。
- ★第三弾では、「国家試験対応能力、並びに合格能力を養う」には、どのようにすれば良いかを、過去に合格した事例を基にして、具体的な対応方法を中心に掲載する。
- ★何よりも、入職時に受験者の「来日目的の再認識」をさせることが、主体性を持たせると同時に、【自学能力を養う】基本的な要因となる。
- ★また、日本人職員と同様の業務を日常的に行わせ、「日本社会の規範」を理解させることが重要だ。その結果、組織人としての倫理観を養え、「国家試験に出題される日本特有の事情問題」に対する理解力がつくために、国家試験対応力が養える。

I、「なぜ、合格率が低いのか」その原因は？

- 受験者の日本語教育時間数は、月報 31 号で詳細に掲載しているが、母国・来日直後集中教育では、2,380 時間以上あり、また、国家試験日までの三年間の教育時間数を加味すると、5,260 時間以上にも及ぶ。しかしながら表 1 の通り、合格率は 40% にも満たずに、毎年低迷している実態がある。

表 1、 介護士 3 年間の合格率推移

年度	受験者数	合格者数	合格率
H23	95 名	36 名	37.9 %
H24	322 名	128 名	39.8 %
H25	215 名	78 名	36.3 %

【教材の選択基準】

- 一年目から事業団教材を使用しないこと。代わりに、「言語能力を養う教材」を使用すること。（月報 49 号参照）
 - 二年目から、事業団教材の専門語彙集を使用すること。並行して、日本人用の介護参考書を使用すること。
 - 三年目は、日本人用の専門参考書と過去問題集を使用すること。
特別領域「日本事情」は、法律基準規則集を使用すること。
- ※ 詳細については、弊社までメールでお問い合わせを。

- 最大の原因は、「教育の質の悪さ」につきると言わざるを得ない。また、「無計画な学習計画」にもある。「無計画な学習計画」とは、学習計画表の項目に、日本人感覚で抽象的に目標を書き連ねたものだ。しかし、このような形態の計画表は、日本の学校教育で用いられるものであり、外国人用の学習計画表とは無縁なものだ。その結果、学習計画表とは無関係に、教育担当並びに、ボランティアの教師達が事業団教材に沿いながら、文言を説明したり、暗記させる指導をしているのが実態だ。
- その為に、受験者には言語能力が身につかず、無駄で膨大な学習時間を費やしたにも関わらず、毎回、表 1 のような無残な結果になっている。そこで、重要なことは、「教材の選択基準を確立すること」と、「体系的な学習計画」を作ることが必要だ。（月報 11 号参照）

II、「事業団の研修会」が、日本語力の向上に弊害を及ぼす理由！！

- 1、一年目の研修会に参加する受験者の言語能力は、基礎言語能力が未熟なために、「聴解力」が不十分で、講義内容についていけず只々、聞き流しているだけの状態がある。
- 2、研修中の同国人間の会話は、全て母語で行われるために、会話の中で比較できず、自分の日本語力が自覚できない。
- 3、受験者は、研修会の位置づけを「友達との交流会」と強く意識しており、それを楽しみにしている。
- 4、研修会での日本語力の比較検証が無いために、日本語に対する関心度が薄れる。
- 5、二・三年目の研修会でも、一年目の体験から講義内容に関心を持つのではなく、交流することに関心が強い。

【参加者の声】

- A、講義内容は何を言っているかが、分からない。話の内容が難しくて、時々、知っている言葉が分かる程度だ。（山梨県）
- B、勉強は分からないけど、研修会に行くのが楽しい。それは、友達と会えて、いろんな話ができるからだ。（東京都）
- C、もし、参加しないと仕事をしなければいけないので、仕事よりは研修会のほうが楽しいから、いつも研修会に参加したいと思っている。（大阪府）

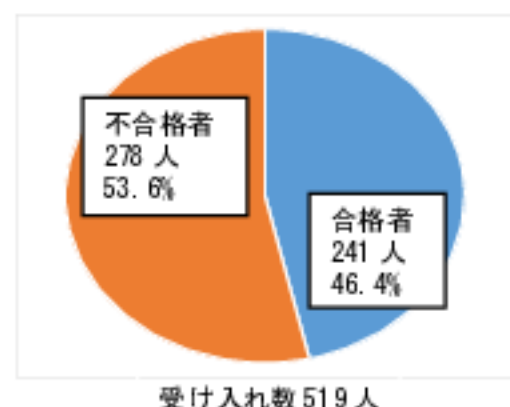
Ⅲ、全体的に不合格者が多い理由

1、【全国に見られる教育現場の実態】

- 受け入れ機関の多くは、外国語教育経験が無い職員が教育指導をしている。また、ボランティアや自称日本語教師を人脈で募り、外国人教育を行っている所が多い。
- 大半の所が、「国語教育と日本語教育の違い」を十分に理解しないままに、「言葉の説明」を行っているのが実態だ。しかも、「説明の仕方」は、【日本人感覚】で一方向的に説明しているだけだ。（月報12号参照）
- 特にひどい所は、対訳をしながら説明をするために、その対訳自体が間違っている、受験者はその誤訳をそのまま国家試験時まで信じ込んでしまっている。その結果、表2の通り不合格者を出す原因となっている。

2、【不合格者を出し続けても、改善しないため】

表2、(国際厚生事業団 H26年度版)
【全体受け入れ数に対する合格率】



- 教育効果が見られないままに、三年間を過ごして不合格者を出している施設は、専門家に任せるべきだ。なぜならば、不合格者を出した教育体制では、新たな受験者を迎え入れても、同様の過ちを繰り返すことになる可能性が非常に大きい。（表2参照）
- しかし、受験者が「学習意欲を無くしてしまったために、合格できなかった」と、言い張る所が多くある。だが、「学習意欲を無くす原因」は受験者自身にある訳ではなく、教育指導者に責任があることを認識すべきだ。
- 例えば、只々、学習時間を多く与えて、「言語能力に合わない教材を基に、学習させている状態」は、受験者に対して耐え難い苦痛の時間でしか無いことに気づくべきだ。

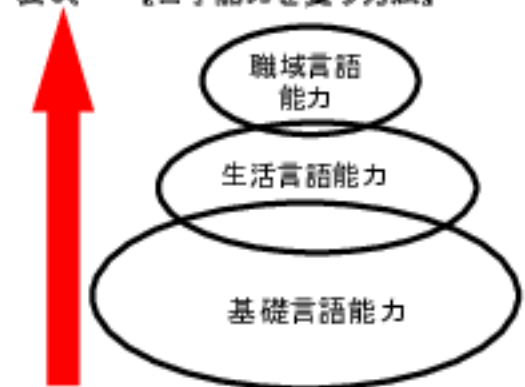
3、【受験者の自学能力】を養えないから、不合格となる

- 【自学能力】を養うためには、表3の通り、「言語習得過程の段階」を計画的に経る学習を行わなければ養えない。特に、第一段階の基礎言語能力は最も重要な段階で、「和語の中に意味ありき」を教育指導の基本に据えて学習させる必要がある。
- その理由は、熟語漢字に対して「読めないが意味が分かる状態」を身につけさせるためには、熟語漢字を分解して、「訓読みすることにより、語彙理解する能力」を身につけることができるためだ。これを【漢字分解法】という。この方法を身につければ、表3の職域言語能力段階においても、語彙理解できるために、国家試験対応能力が身につくこととなる。
- しかしながら、多くの受け入れ機関では、既述したような「教育理念と方針」を知らないため、只々、闇雲に対訳したり、説明したりして暗記させる方法しかとれない。その結果、多くの不合格者を出し続けることとなる。

＜教育指導者の声＞

- A、言葉の意味を丁寧に説明しているのに、「理解できてあたりまえ」と思っているが、実際は理解していない。（神奈川県）
- B、「分からないのは勉強しないからだ」。丁寧に言葉を説明しているのに、「全然聞こうとしない」のは、受験者に勉強する気がないからだ。（静岡県）
- C、私達は「こんなに一生懸命教えてあげているのに、全然理解できない」と言う。どうしていいか、分からない。（兵庫県）
- D、「はなから勉強する気もなく、合格する気もないし、お金稼ぎに来ているだけだ」としか見られない。（岐阜県）
- E、日本語教師が教えても学習意欲がなく、勉強をボイコットしている。（愛知県）

表3、【自学能力を養う方法】



Ⅳ、【確実に合格させるためには】

- A、体系的な言語教育を行うこと。
- B、継続的・段階的に「言語能力到達度」をチェックすること。
- C、定期的なチェックにより、受験者の言語能力の弱点を把握すること。

※ 詳細は【月報26、27号】を参照。

施設の声

就業時間内では、学習させず！！

- 以前受け入れていた候補者は、施設内での学習時間を週2回とっていたが、今年の候補者からは、【月報】を参考にして、学習時間は一切設けずに、自学させるように、方針を変えた。
- 以前よりも厳しい対応にはなったが、仕事を最優先で行わせるように考えを改めた。指導の中心は、仕事が終わったら、自宅で勉強する習慣を身につけさせるようにしている。

(広島県・「到達度試験」参加施設)

毎日2時間の学習は、多過ぎ？

- 二名受け入れている。受験までは期間があるので、今は日本語学習をしている。施設内での学習時間は、毎日2時間とって学習させている。私も(総務)毎日2時間とらせていることは、手厚く対応し過ぎていると感じているが・・・？。
- 候補者は勉強している時よりも、仕事をしている時のほうが、表情も活き活きしているように感じる。業務はだいぶ慣れて、利用者さんからも信頼されている。

(愛知県・Y施設)

毎日午後、2時間も学習！？

- ベトナム一名を受け入れ、職員が指導している。無宗教ということもあり、対応も楽だと感じる。勉強時間は毎日午後2時間とっている。最初の頃は職員が見ていたが、最近では一人で学習するようになっている。
- 介護の勉強はまだせずに、日本語だけを復習させている状況だ。本人も勉強は好きなようで、はじめに取り組んでいるので、満足している。
- 10分間問題も解いてみたが、1カ所問題の意味が理解できていなかった。(兵庫県・V施設)

週の半分を学習時間にあてる！？

- 12月で入職して1年が経過しようとしているが、とても早く感じる。職員が日本語学習を見ていたが、3ヶ月間ほど前から、外部の講師を招いて教えてもらっている状態だ。
- 事務方は直接指導しているわけではないので、どの位伸びているかは、正直把握はできていない。
- 学習時間を週の半分くらいは設けているので、就業時間がとても少ない状態だ。10分間問題で、伸び具合を把握できるのであればやってみたいと思う。(熊本県・I施設)

毎日3~4時間は、あまりにも多すぎないか？！

- 毎日3~4時間は学習時間を設けていて、その中で、職員が空いている時は少しずつだが、受験対策の指導に携わっている状態だ。
- しかし、職員が就いて指導できるのは、限られているので、自分たちだけで少しずつだが、学習させている。しかし、効果がよく分からない。
- 昨年までは、日本語の先生がついて日本語学習を指導していたが、今年は受験対策中心のため、日本語の先生はつけずに、職員が専門語彙や知識を教えている状況だ。

(愛知県・I施設)

合格率
80%

教育効果の高いスカイプ授業！！

学習意欲が昂まる
スカイプの
強み！

- ※ 本「スカイプ授業」は助成金の範囲内で参加できます。
- ※ 御希望の方はお問い合わせ下さい。 電話：086-431-3481

- 1、Eラーニングではできない「疑問点をその場で理解」できる。
- 2、受験者の「聴解力と会話力」が身につく、受験能力が養える。
- 3、瞬時反応能力が養え、「難解な熟語漢字対応能力」を養える。
- 4、「読解力と構文力」が身につく、国家試験問題を解く力を養う。
- 5、学習計画に基づいて、確実に「国家試験受験能力」が身につく。
- 6、専門書で「専門知識」を身につけ、「国家試験合格能力」が養える。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		

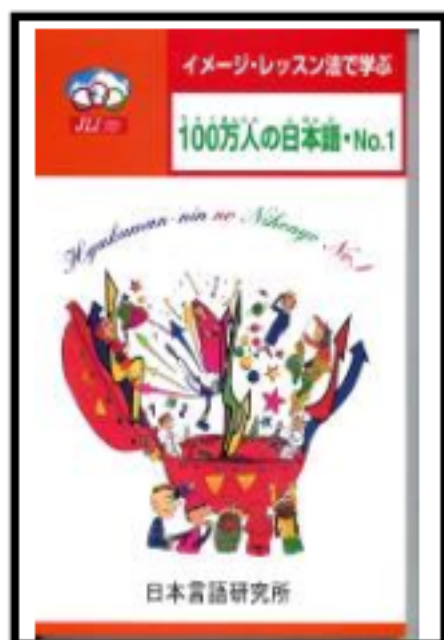
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

主教材

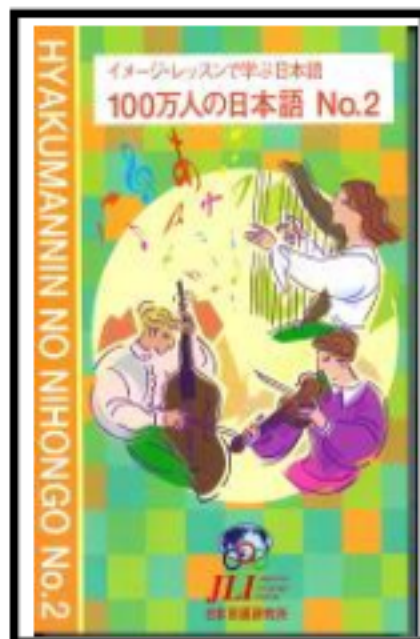
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての
言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・
存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成
となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文
を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解
しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得
できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現
力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語
のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解
して、目上の人に対する礼節を保つ表
現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書け
ると同時に、漢字熟語を使った要約文
を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を
引いて調べることができます。(3,300 円)

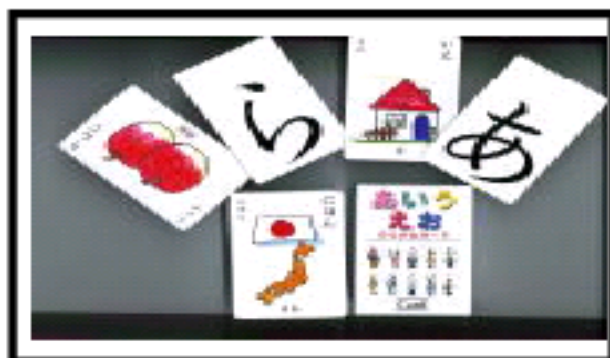
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

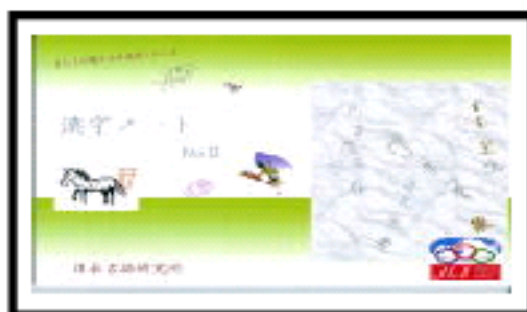
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

